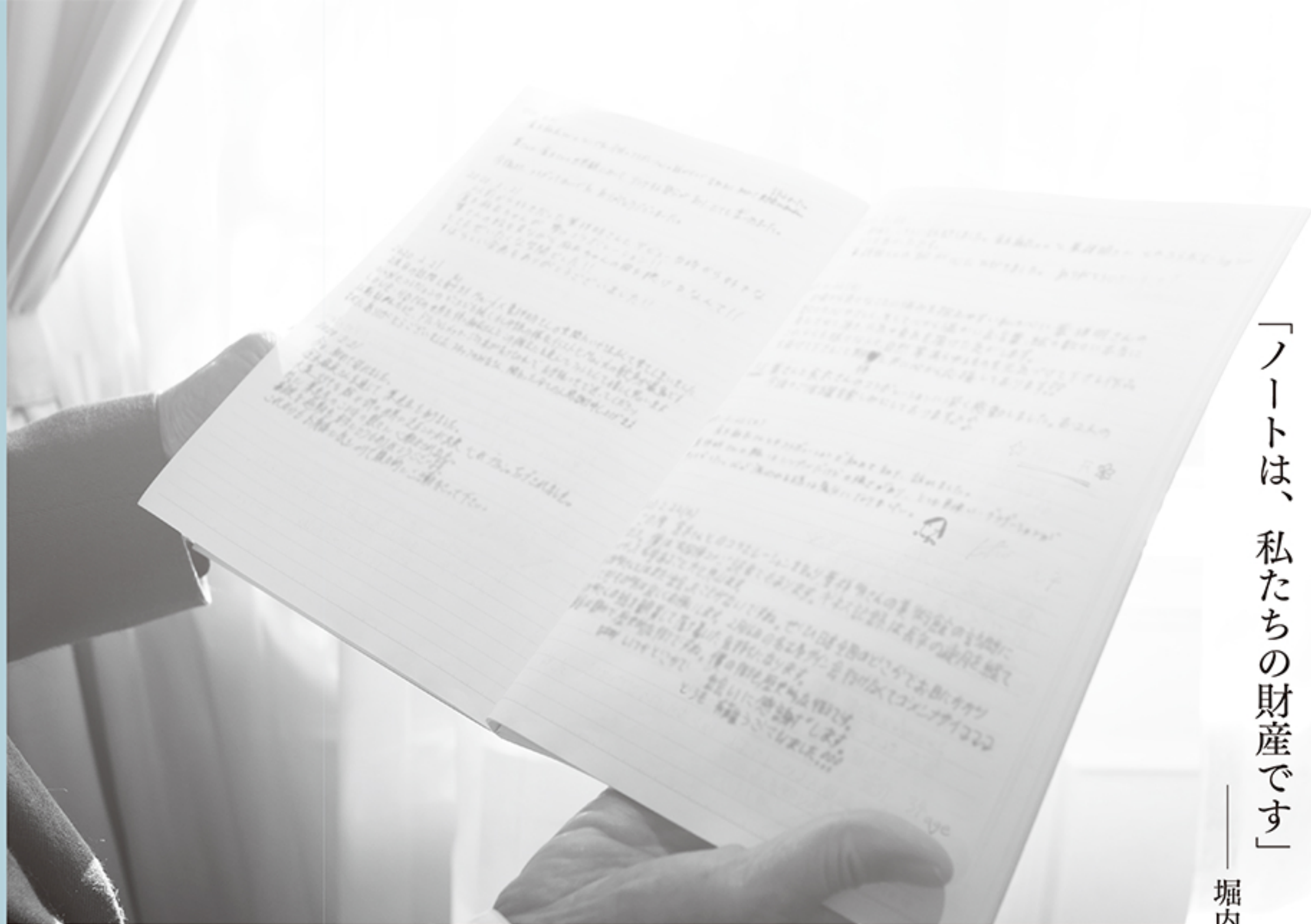


一度も見たことがない景色に、なぜ懐かしさを感じるのか 不思議でたまらない。
何かが時空を超えると、個を超えると、目に見えない力を感じる。

わたしは小学3年生です。
いつも「葉祥明」さんの本や、絵が大好きです。
それでわたしは思いました。
祥明さんの絵は、かんたんに、見えるけど、でも、わたしは、
祥明さんだから、かける絵だと、思います。
いつまでも、たくさんの絵や、本、をかいてください。

私は今13才です。
はじめて葉祥明さんの絵をみたのは小学1年の時です。
小学1年だった私でも、葉祥明さんの絵は魅力的で、ずっと
美術館へ来てみたかったので、今、ここにいられることがと
てもうれしいです。
時間を忘れるほど、すてきな作品がいっぱいです。
心が優しくなれた気がします。

家を飛び出してここに来ましたが、絵を見ている
うちに心が落ち着きました。もう一度やり直そう
と思います。今度は娘と来ます。



「ノートは、私たちの財産です」

堀内重見さん（北鎌倉葉祥明美術館館長）

北鎌倉 葉祥明美術館 『感想ノート』から

展示室に置かれてある「感想ノート」には、開館当時から書き綴られた、B5サイズのノート150冊以上にわたる心のこもったメッセージが残されています。美術館の方たちだけではなく、葉祥明氏もご来館のたびに目を通してというノートから、ごくごく一部ですが、心に残る言葉を拾い集めました。（編集室）

参考（北鎌倉 葉祥明美術館HP/美術館を楽しむ/お客様の声）
<https://www.yohshomei.com/enjoy/index.html#voice>